



「そうぞうする団地」ラッピング列車が走ります

取手市内の戸頭団地、井野団地の可能性を発信します

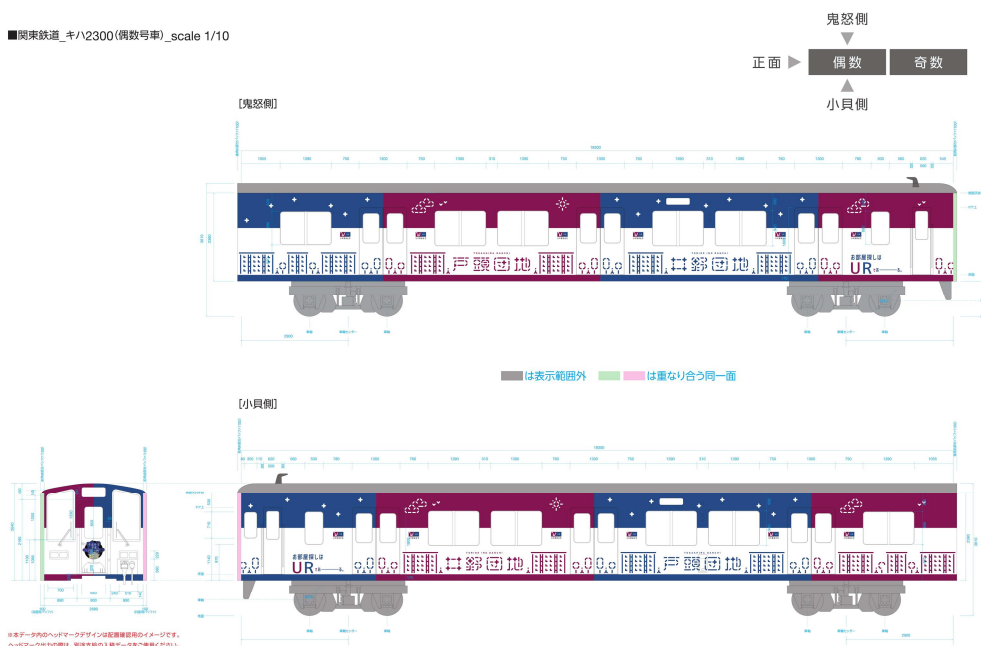
2025年12月1日より、取手駅を始発として走る関東鉄道常総線にて、UR都市機構と取手アートプロジェクト(TAP)のコラボレーションプログラムとして、井野団地と戸頭団地をテーマにした「団地ラッピング列車」が走ります。それぞれの団地の名前とともに、団地での日常や創造の風景をモチーフとしたデザインが車体を彩ります。

■企画

UR都市機構が取手市内の団地の魅力再発見・情報発信の取り組みの一環として、取手市内にある井野団地と戸頭団地をテーマに実施するものです。車体デザインコーディネートは、長年にわたって団地を舞台にアートプロジェクトを展開してきた、取手アートプロジェクトが担います。日本で唯一の半立体型アート作品群が壁面に展開する“戸頭団地”と、新たなアートのある団地の取り組みとして「そうぞうする団地」が2024年度より現在まで展開している“井野団地”。このラッピング列車は今後、単なる広告車両ではなく、取手市内2つのUR団地のストーリーを発信する“移動するメディア”となることも予定されています。2026年4月頃以降には、各団地で進行中の取り組み(住民参画型のアートプロジェクト、拠点や作品群の紹介など)を、中吊りポスター等車内展示を通じて紹介し、取手で進んでいる団地のこれからのに向けた取り組みのおもしろさを地域内外へ伝えます。

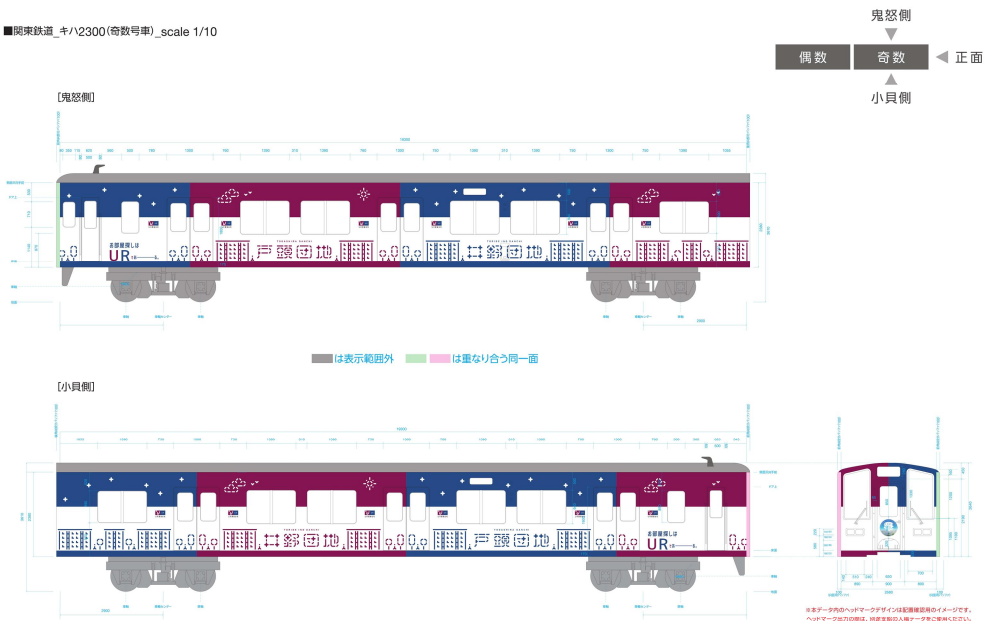
【ラッピングプラン】

■関東鉄道_キハ2300(偶数号車)_scale 1/10





■関東鉄道_キハ2300(奇数号車)_scale 1/10



【運行概要】

- 運行開始日：2025年12月1日（月）
- 運行終了日（予定）：2026年11月30日
- 路線：関東鉄道常総線（取手駅～水海道駅を主とする区間）
- 主催：UR都市機構
- デザインコーディネーター：特定非営利活動法人取手アートプロジェクトオフィス
- デザイン制作：森垣賢（グラフィックデザイナー）
- 協力：取手アートプロジェクト実行委員会、関東鉄道株式会社



取手アートプロジェクトコアプログラム《アートのある団地》の取り組み

■ “戸頭団地” の壁面作品群 IN MY GARDEN (インマイガーデン)

このプロジェクトは、UR 都市機構による長期修繕の外壁補修工事と組み合わせ、居住空間の外壁をアート作品化するプロジェクトです。2013 年に戸頭団地やその周辺にお住まいの方々を対象に、「戸頭団地にまつわるエピソード」を集め、そのエピソードからアーティストが着想を得て、団地の壁にアートを展開。2014 年 3 月より工事が着工し、2014 年 9 月に 12 作品、2016 年 8 月に最終の 3 作品が完成しました。

■ “井野団地” での取り組みと「そうぞうする団地」

取手井野団地でのアートの取組は 2007 年の井野アーティストヴィレッジ設立、2008 年度の取手アートプロジェクトによる現代美術の公募展の開催がはじまりです。2024 年度に団地の中でのプレイヤーが活動する仕組みの設計として「そうぞうする団地」の公募が行われ、現在も実験が継続しています。団地の中で地域と関わりながら新たなコミュニケーションの場を生み出せるような企画・表現を藝大生や地域のアーティスト、地域住民など団地の未来を考え、やりたいことを抱いているパートナーと共に試みています。

※取手市も参加しております取手アートプロジェクトが協力のため文化芸術課が情報を提供しております。

問い合わせ先	特定非営利活動法人取手アートプロジェクトオフィス 担当：羽原、田中 電話：0297-84-1874（火・金 13-17 時・4-7 月および 10 月-1 月は平日 10-17 時対応） FAX：0297-84-1875 E-mail：tap-info@toride-ap.gr.jp WEB：https://toride-ap.gr.jp/ 取手市 政策推進部 文化芸術課 文化芸術振興係 担当者：秋田・落合 電話：0297-74-2141（内線 1292） E-mail：art@city.toride.ibaraki.jp
--------	--

鬼怒側

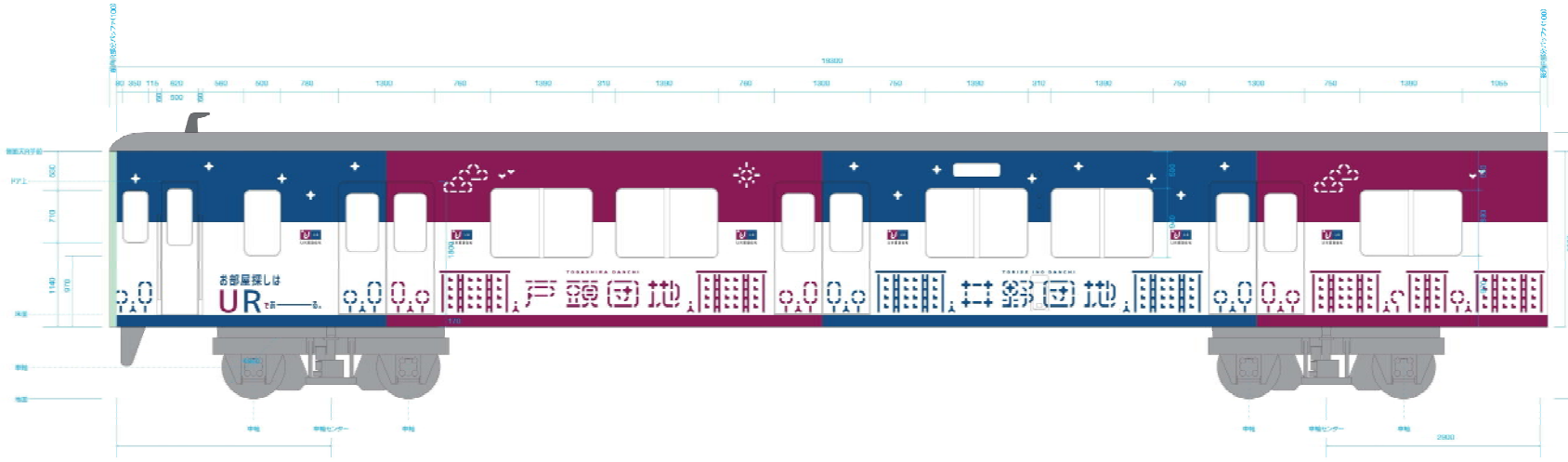
偶数

奇数

← 正面

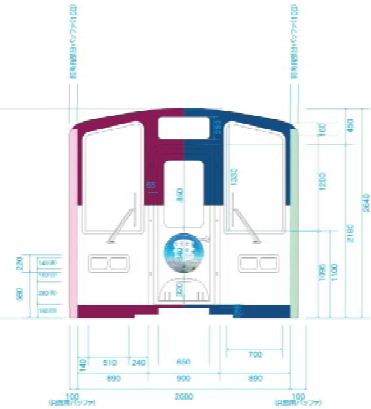
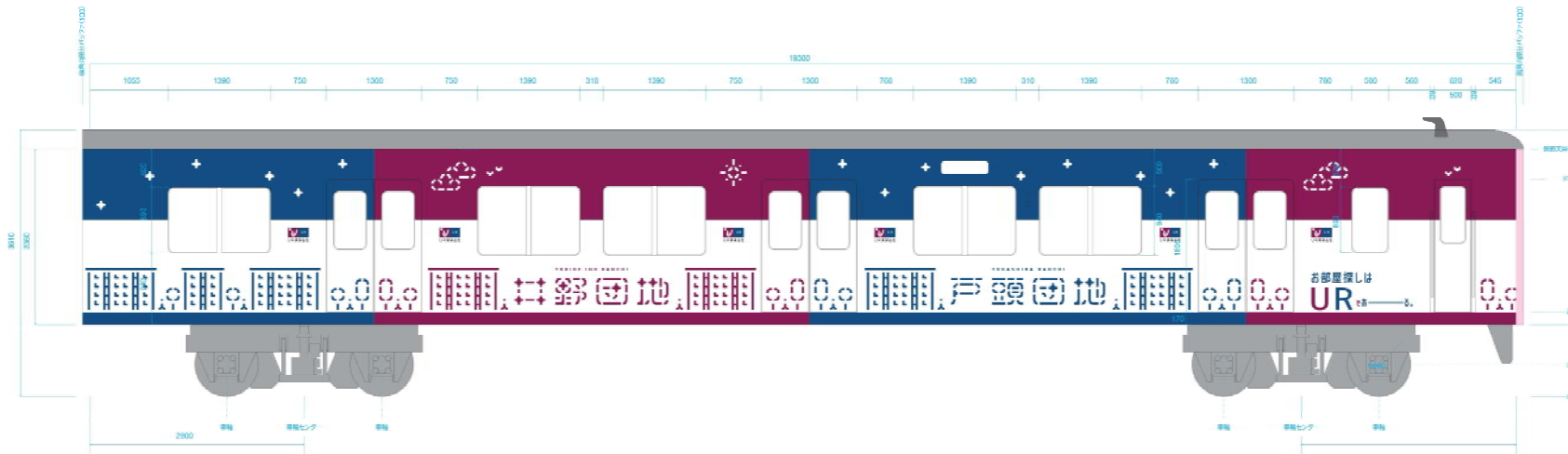
▲ 小貝側

[鬼怒側]

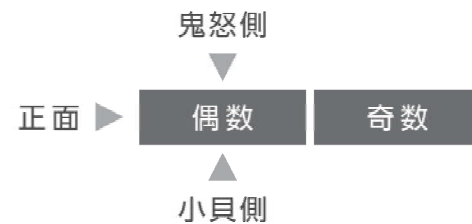


■ は表示範囲外 ■ は重なり合う同一面

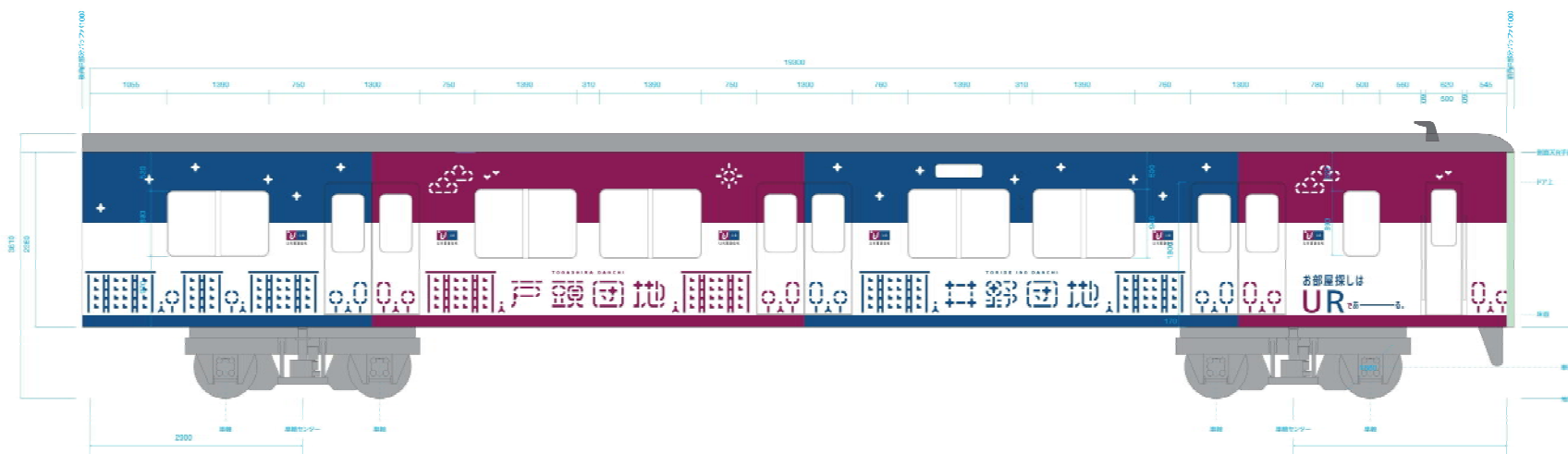
[小貝側]



※本データ内のヘッドマークデザインは配置確認用のイメージです。
ヘッドマーク出力の際は、別途支給の入稿データをご使用ください。

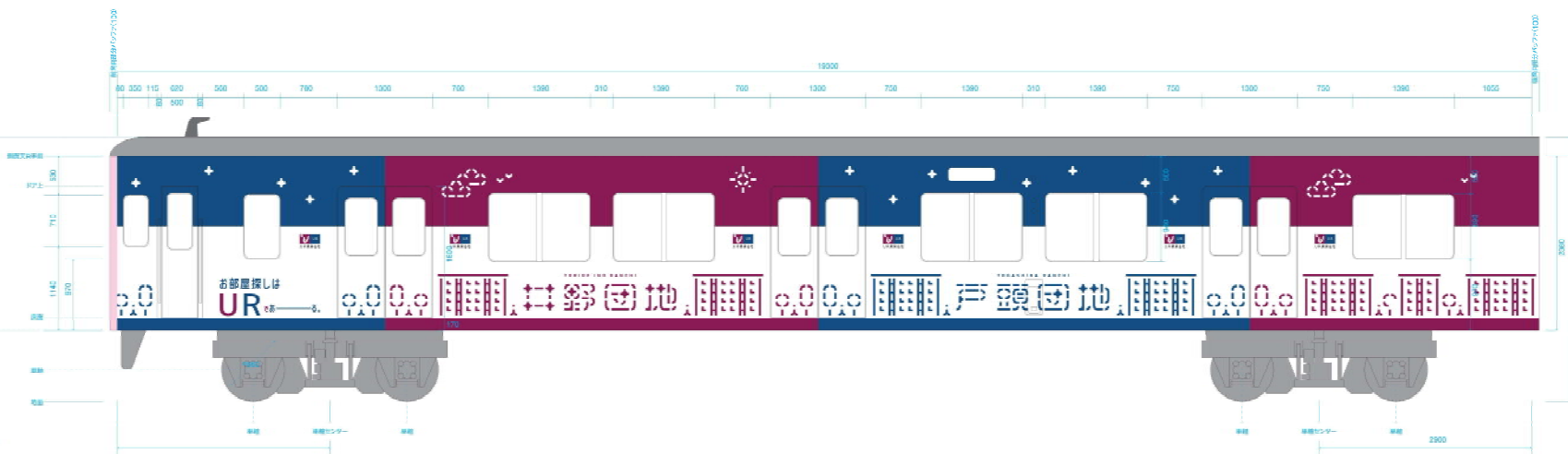
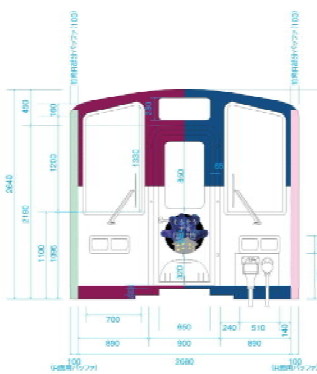


[鬼怒側]



■ は表示範囲外 ■ は重なり合う同一面

[小貝側]



※本データ内のヘッドマークデザインは配置確認用のイメージです。
ヘッドマーク出力の際は、別途支給の入稿データをご使用ください。

◆「そうぞうする団地」とは

取手アートプロジェクトの事業の一環で、地域に根差した形で展開する、「暮らし」そのものを舞台とした実験的な試みです。このプログラムの核心は、団地という日常の生活空間をフィールドに、そこに暮らす人々やアーティスト、外部の参加者が「そうぞう」（想像・創造）することを通じて、少し先の未来のまちを手づくりすることにあります。

この試みは、アートを特別なものとして切り離すのではなく、日々の営みの中へ溶け込ませることを目指しています。参加者である「実験プログラムパートナー」は、団地という既存のコミュニティや空間、あるいは過去の記憶や未来の可能性といった複合的な要素に働きかけます。具体的には、住民同士の新たな交流を促す企画や、風景の捉え方を変える表現活動、地域活動を支える新しい仕組みづくりなどが展開されます。

団地が抱える高齢化やコミュニティの希薄化といった課題に対し、「想像力」を駆使して現状を乗り越えるビジョンを描き、それを形にする「創造力」を発揮することで、まだ見ぬ風景や持続可能な地域活動のあり方を模索します。単なる作品展示ではなく、活動自体がコミュニケーションのきっかけとなり、地域社会の可能性を引き出し、住まいと暮らしの未来を自らの手で編み直していくためのユニバーサルなプラットフォームとして機能しているのが、「そうぞうする団地」の最も重要な趣旨です。

「そうぞうする団地」で実施された実験プログラムは 12 プログラムありましたが、以下の 2 つのプログラムを紹介します。

1. (仮称)井野団地家具店

団地内で使われてきた家具を回収し、修理・整頓して次に使う人へつなげる活動です。単にモノを再利用するだけでなく、長年使われてきた家具にまつわる住民の思い出やストーリーも一緒に受け継いでいくことを目指し、家具を通じて新たな交流を生みました。

2. 井野花通信

井野団地に育っている花や植物の成長を、住民が写真や情報として持ち寄り、共有し合う取り組みです。団地内の活動拠点(いこいの+Tappino)の壁に、植物の写真を貼り出すことで、ささやかな日常の発見を共有し合い、団地の自然への注目と住民同士のさりげない交流を促しました。

これらのプログラムは、大規模なアート作品制作ではなく、団地の日常の暮らしやモノ、風景の中に潜む価値を再発見し、そこから人々の緩やかなコミュニケーションや地域への愛着を生み出すことを目指しているのが特徴です。

そうぞうする団地 URL <https://toride-ap.gr.jp/danchi/souzou>